

平成29年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年3月3日

上場会社名 ナトコ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4627 URL <http://www.natoco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 粕谷健次
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長・生産企画部長 (氏名) 山本豊 TEL 0561-32-2285
 四半期報告書提出予定日 平成29年3月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年10月期第1四半期の連結業績（平成28年11月1日～平成29年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年10月期第1四半期	3,644	1.4	289	27.3	377	106.4	238	173.6
28年10月期第1四半期	3,595	1.2	227	27.7	182	△30.3	87	△40.9

(注) 包括利益 29年10月期第1四半期 375百万円 (ー%) 28年10月期第1四半期 △3百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年10月期第1四半期	31.57	—
28年10月期第1四半期	11.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年10月期第1四半期	20,605	16,268	79.0	2,156.61
28年10月期	20,456	15,998	78.2	2,120.82

(参考) 自己資本 29年10月期第1四半期 16,268百万円 28年10月期 15,998百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年10月期	—	12.00	—	14.00	26.00
29年10月期	—				
29年10月期(予想)		12.00	—	14.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年10月期の連結業績予想（平成28年11月1日～平成29年10月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,600	3.8	570	13.0	580	52.8	370	102.1	49.05
通期	15,400	3.7	1,230	3.6	1,250	26.5	800	33.6	106.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年10月期 1 Q	8,144,400株	28年10月期	8,144,400株
② 期末自己株式数	29年10月期 1 Q	600,920株	28年10月期	600,920株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年10月期 1 Q	7,543,480株	28年10月期 1 Q	7,543,480株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国、欧州は景気が回復傾向にはあるものの、中国を始めとする新興国経済は減速しており、加えて英国や米国新政権の影響もあるなど、不透明感な状況で推移しました。

一方、わが国経済は、企業業績、雇用環境の改善が進み、景気は緩やかな回復基調が続いていますが、株価や為替相場の変動など注視を要する状況でありました。

このような状況のもと、当社グループは独自性のある高機能性製品や環境対応型製品の開発に加え、業務全般の効率化や生産性の向上によるコスト削減に努めるとともに、引き続き販路拡大に向け国内外で営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,644百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益289百万円（前年同期比27.3%増）となりました。また、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、在外子会社に対する貸付金の為替差益の計上により、経常利益377百万円（前年同期比106.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益238百万円（前年同期比173.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分変更を行っており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「4. 四半期連結財務諸表 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）セグメント情報」の「II 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載しております。

①塗料事業

金属用塗料分野では、ユーザーの環境意識の高まりにより環境対応型製品への需要が堅調に推移し、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。内装建材用塗料分野では、無塗装フローリング製品の増加で低調な状況が続いており、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。外装建材用塗料分野では、大手ユーザーへの販売が堅調であったことで、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、塗料事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は2,458百万円（前年同期比4.2%増）、セグメント利益は328百万円（前年同期比31.3%増）となりました。

②ファインケミカル事業

電子材料向けのコーティング剤やスマートフォン向けの製品が不調であったため、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、ファインケミカル事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は274百万円（前年同期比13.3%減）、セグメント利益は1百万円（前年同期は△19百万円）となりました。

③シンナー事業

シンナー事業におきましては、一部大手ユーザーでの生産拠点の海外移転に伴い、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、シンナー事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は910百万円（前年同期比0.9%減）、セグメント利益は89百万円（前年同期比24.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は13,730百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が182百万円、受取手形及び売掛金が162百万円、繰延税金資産が49百万円減少したものの、有価証券が300百万円、商品及び製品が107百万円増加したことによるものであります。固定資産は6,874百万円となり、前連結会計年度末に比べ131百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が74百万円、投資有価証券が50百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は20,605百万円となり、前連結会計年度末に比べ148百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は3,622百万円となり、前連結会計年度末に比べ122百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が117百万円増加したものの、未払法人税等が97百万円、賞与引当金が134百万円減少したことによるものであります。固定負債は714百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円増加いたしました。これは主に役員退職慰労引当金が16百万円減少したものの、繰延税金負債が18百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,336百万円となり、前連結会計年度末に比べ120百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は16,268百万円となり、前連結会計年度末に比べ269百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を238百万円計上した一方で、配当金の支払105百万円があったこと、為替換算調整勘定が99百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は79.0%（前連結会計年度末は78.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月期の連結業績予想につきましては、平成28年12月14日に公表いたしました「平成28年10月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,498,062	6,315,487
受取手形及び売掛金	4,521,473	4,359,365
電子記録債権	241,816	263,205
有価証券	200,000	500,000
商品及び製品	865,277	972,873
仕掛品	33,965	40,641
原材料及び貯蔵品	429,361	465,080
繰延税金資産	107,099	57,927
その他	821,040	760,602
貸倒引当金	△4,664	△4,544
流動資産合計	13,713,432	13,730,640
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,568,561	2,599,613
機械装置及び運搬具(純額)	949,871	968,600
土地	1,737,249	1,737,249
その他(純額)	671,343	696,129
有形固定資産合計	5,927,026	6,001,593
無形固定資産	197,054	203,175
投資その他の資産		
投資有価証券	446,844	496,928
繰延税金資産	23,947	23,452
その他	149,055	150,563
貸倒引当金	△1,208	△1,208
投資その他の資産合計	618,638	669,736
固定資産合計	6,742,719	6,874,505
資産合計	20,456,152	20,605,145
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,584,101	2,701,757
未払法人税等	159,384	61,737
繰延税金負債	430	—
賞与引当金	242,660	107,910
役員賞与引当金	34,630	8,450
その他	723,342	742,631
流動負債合計	3,744,548	3,622,486
固定負債		
繰延税金負債	58,413	77,403
役員退職慰労引当金	281,569	264,885
退職給付に係る負債	191,645	189,849
その他	181,601	182,175
固定負債合計	713,229	714,313
負債合計	4,457,777	4,336,800

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,626,340	1,626,340
資本剰余金	3,316,538	3,316,538
利益剰余金	11,027,213	11,159,739
自己株式	△516,252	△516,252
株主資本合計	15,453,839	15,586,364
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	177,603	214,251
為替換算調整勘定	398,607	497,771
退職給付に係る調整累計額	△31,675	△30,043
その他の包括利益累計額合計	544,535	681,979
非支配株主持分	—	—
純資産合計	15,998,374	16,268,344
負債純資産合計	20,456,152	20,605,145

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年1月31日)
売上高	3,595,236	3,644,042
売上原価	2,726,841	2,713,425
売上総利益	868,395	930,617
販売費及び一般管理費	641,301	641,503
営業利益	227,093	289,113
営業外収益		
受取利息	956	679
受取配当金	4,497	5,155
貸倒引当金戻入額	374	120
為替差益	—	78,415
その他	6,200	6,447
営業外収益合計	12,028	90,818
営業外費用		
支払利息	11	6
売上割引	2,700	2,888
為替差損	51,474	—
その他	2,241	5
営業外費用合計	56,428	2,900
経常利益	182,694	377,031
特別利益		
固定資産売却益	1,123	1,503
投資有価証券売却益	—	772
特別利益合計	1,123	2,275
特別損失		
固定資産処分損	183	1,129
特別損失合計	183	1,129
税金等調整前四半期純利益	183,634	378,177
法人税、住民税及び事業税	28,676	85,502
法人税等調整額	67,925	54,541
法人税等合計	96,601	140,043
四半期純利益	87,033	238,133
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	87,033	238,133

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年1月31日)
四半期純利益	87,033	238,133
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,709	36,648
為替換算調整勘定	△76,098	99,164
退職給付に係る調整額	402	1,631
その他の包括利益合計	△90,405	137,444
四半期包括利益	△3,372	375,578
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,372	375,578
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年11月1日 至平成28年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	シンナー 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,359,456	316,763	919,016	3,595,236	—	3,595,236
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	145	—	52,539	52,685	△52,685	—
計	2,359,602	316,763	971,555	3,647,921	△52,685	3,595,236
セグメント利益又は損失(△)	250,243	△19,062	118,469	349,649	△122,556	227,093

(注) 1. セグメント利益の調整額△122,556千円は、セグメント間取引消去5,653千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△128,210千円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年11月1日 至平成29年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	シンナー 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,458,886	274,657	910,498	3,644,042	—	3,644,042
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,039	680	54,193	63,913	△63,913	—
計	2,467,926	275,338	964,691	3,707,956	△63,913	3,644,042
セグメント利益	328,574	1,449	89,075	419,099	△129,985	289,113

(注) 1. セグメント利益の調整額△129,985千円は、セグメント間取引消去7,995千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△137,980千円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、「塗料事業」に含めておりました樹脂素材分野を「ファインケミカル事業」に含めるよう変更しております。

これは、当社グループの事業展開、経営管理体制の実態等の観点からセグメントについて再考した結果、取扱製品の特性が類似する「ファインケミカル事業」に含めるのが適切であると判断したことによるものであります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成しております。